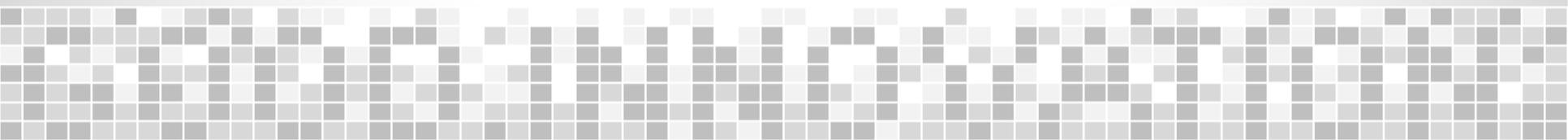


2013年度上期総括と今後の経営方針

代表取締役 社長執行役員 石井 直

このプレゼンテーション資料には、2013年11月15日現在の、経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

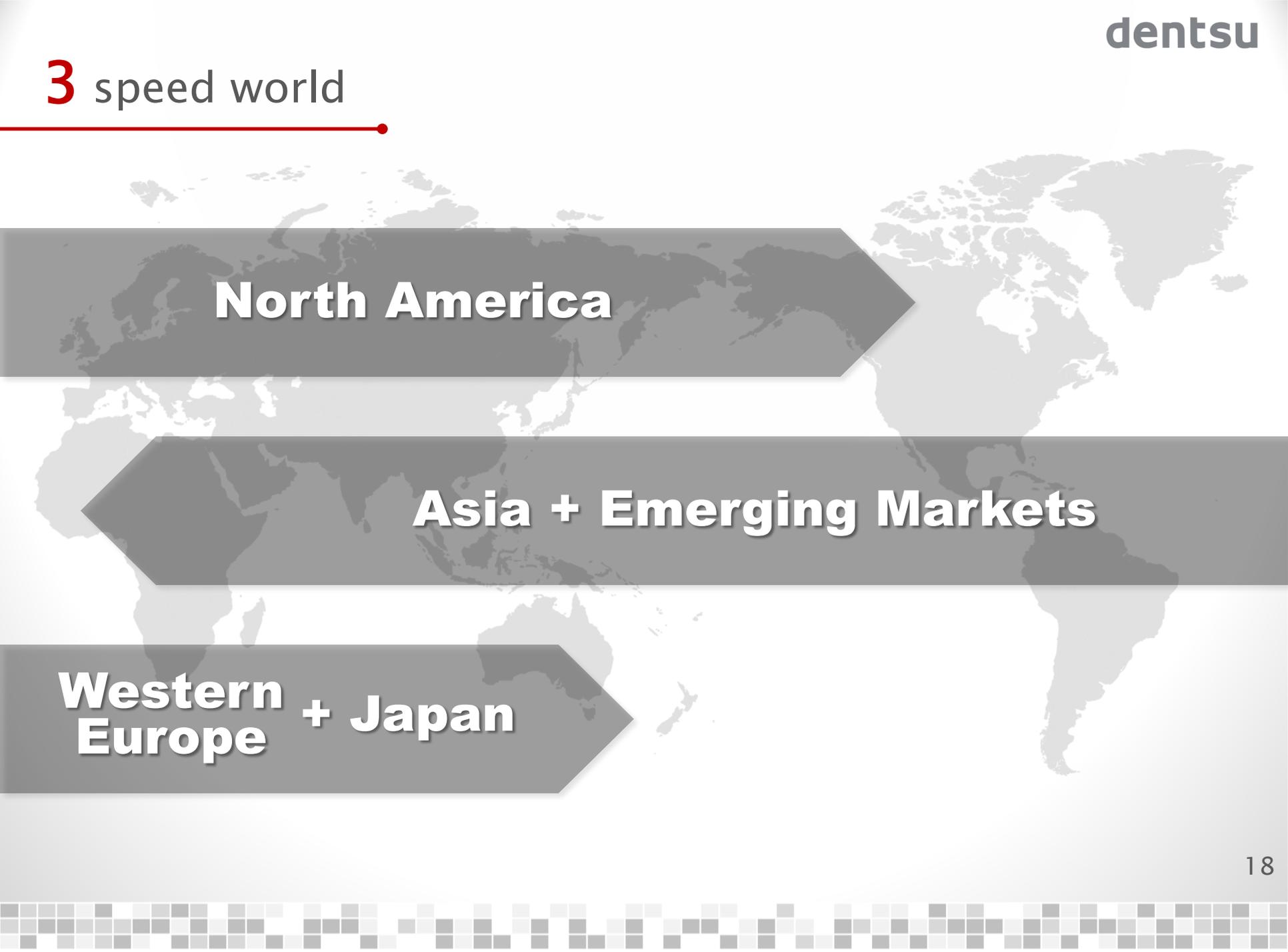
2013年11月15日



マーケティング・コンバージェンスをリードする
真のグローバルネットワークへの進化
Innovation × Reinvention

- グローバルでのポートフォリオ多極化
- デジタル領域の進化と拡大
- ビジネスプロセスの革新と収益性の向上
- コア・コンピタンスである日本市場での更なる事業基盤強化

3 speed world



North America

Asia + Emerging Markets

Western Europe + Japan

3 speed world

North America

- 電通ネットワークとイージスの統合効果により、複数の新規案件を獲得。
- イージスが前年獲得した大型クライアントが成長を牽引。

高成長を続ける
2つのネットワークの統合による
更なるシェアの拡大

3 speed world

Asia + Emerging Markets

- 中国、ロシア、インド、タイなどでM&Aを実施。
- 重要市場である中国では、前年からの積極的な買収による貢献と、既存ビジネスの復調により成長を維持。

M&Aを通じたスケール拡大

リーディング・ポジションの確保

3 speed world

Western Europe

- 西ヨーロッパは厳しい市場環境ながら、強固な顧客基盤により健闘。
- デジタル領域などへの投資を軸に、事業基盤の強化を続ける。

事業基盤の強化

経済復調に伴う収益機会を
積極的に取り込む

Mergers + Acquisitions

10月	ロシア	トラフィック社	デジタル・エージェンシー
9月	中国	トリオ社	デジタル・クリエイティブ
9月	スペイン	ウインク社、ワイメディア社	デジタル & Scale エージェンシー
7月	イタリア	シンプル・エージェンシー社	デジタル・エージェンシー
5月	インド	ウェブチャットニー・スタジオ社	デジタル・クリエイティブ
5月	オランダ	ソーシャル・エンバシー社	ソーシャルメディア Infill エージェンシー
5月	ルーマニア	キネクト社	デジタル・エージェンシー
5月	ベルギー	ニューワールド社	ブランド・プロモーション
5月	カナダ	エヌ・ヴィ・アイ社	デジタル・エージェンシー Innovation
4月	タイ	ブランドスケープ社	ブランド・コンサル
4月	中国	北京ワンダーアドバタイジング社	デジタルメディア・エージェンシー

Core Business

Japan

- 電通単体を中心に、連結業績に大きく貢献。
- 売上総利益は、市場成長を上回る。
- コストコントロールにより収益性も改善。

更なる収益性の向上

充実した事業基盤を活かした
新たな成長機会の創造・獲得

Marketing Convergence

統合マーケティングサービス



Data Management Platform



Key Performance Indicator

FY2012 ※1

FY2013/1h

FY2017 target

売上総利益
オーガニック成長率

3.5% → 3%–5% ※2

売上総利益
海外事業構成比

44% → 46.9% → 55%以上

売上総利益
デジタル領域構成比

23% → 26.5% → 35%以上

のれん等償却前
オペレーティング・マージン

18% → 14.9% → 20%以上

(通期予想18.6%)

※1) FY2012数値は、イージスと電通の単純合算ベースで計算

※2) FY2017売上総利益オーガニック成長率は、5年間のCAGRで計算

その他用語の説明はAppendixをご参照ください。